

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議からの意見を活かす上で、参加できなかった方とも情報共有し、よりよい施設サービスの向上を目指す。	運営推進会議に出た、意見や感想を取りまとめた議事録を、参加できなかったご家族や、地域代表の方々にも、配布するようにし、運営等に対する意見がより反映されるように努めます。	6ヶ月
2	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	急変時や、終末期におけるご家族の意向を確認、情報共有し、より適切な対応が出来るようになる。	再度ご家族と個別に話し合いの機会を設け、急変時対応確認書を作成の上かわし、適切な対応がとれる様にします。	6ヶ月
3	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の避難訓練の精度をよりあげていくと共に、利用者様の安全確保をより図っていきます。	避難訓練の回数を増やしていくと共に、レク活動として、防災頭巾の作成をし、常備できるよう準備します。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。